

## 《九州大学病院の理念》

患者さんに満足され、  
医療人も満足し、  
医療の発展に貢献する病院を目指します。

## 《基本方針》

- 1 高度医療の提供と研究開発の推進
- 2 より高い医療安全の追求
- 3 地域医療への貢献
- 4 情報技術を基盤にした国際化の推進
- 5 全人的医療を実践する医療人の養成

## 最先端技術と医療安全の融合による世界最高水準の医療を

### あらゆる医療の要請に応える

2024年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震（令和6年能登半島地震）において、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地における救命・救助、復旧・復興活動などにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

九州大学病院は、DMAT（災害派遣医療チーム）、DPAT（災害派遣精神医療チーム）、JDAT（日本災害歯科支援チーム）を現地に派遣し被災者の支援にあたりました。

各チームはそれぞれ、被災地域で活動するために専門的な訓練を受けた医師・看護師・臨床心理士・歯科医師・歯科衛生士等で構成され、現地で避難所・避難施設の巡回や被災医療機関の診療支援などを行いました。

このような災害医療、救急医療はもちろん、あらゆる医療の要請に応えていくことが、西日本地域の中核病院、国立大学病院としての当院の使命であると考えます。

### 協定で広がる世界 — 国際医療への貢献、地域との連携推進

様々な問題が複雑に絡みあう現代において、他者との協力は必要不可欠です。九州大学病院でも様々な組織と協力関係を結び、組織間での情報や技術、経験等の共有による研究開発の進展、医療の向上、地域医療への貢献に努めています。

2024年3月には、特定非営利活動法人ジャパンハートとのパートナーシップ協定を締結しました。ジャパンハートは、「医療の届かないところに医療を届ける」を理念に国内外で活動する日本発祥の国際医療NGOです。九州大学病院は、2016年以来、ジャパンハートからの依頼を受け、ミャンマーでの小児生体肝移植、カンボジアでの小児がん手術、現地人医師への指導などを行ってきました。今回のパートナーシップ締結により、組織間の連携を強化することが可能となります。今後は、新たに始まるラオスでのプロジェクトのため、当院医師が現地の子ども病院で医療支援活動を行う予定です。



病院長 中村 雅史  
Director, Masafumi Nakamura

一方、国内では、昨年度から再開した「九州大学病院連携医療機関登録制度」により、地域の関連医療機関との協力体制はより強固なものとなっています。現在100を超える医療機関にご登録いただき、地域の方々に安心して医療を受けていただけるような体制を整備しています。

### 別府病院再開発 — 新病院の開院

2021年から約3年の歳月をかけて別府病院の新病院の建設を進めてきましたが、予定通り2024年3月1日に開院の日を迎えることができました。

「別府湾を一望できる癒しの空間」というコンセプトそのままに別府湾や鶴見岳を望む清潔な病室やダイニング、九州大学芸術工学研究院とコラボし要所に配置された芸術作品、拡充された手術室、新たに導入された最新放射線機器、と新建設のメリットを存分に活かした理想の病院になりました。また、地域から強い要望のあった婦人科が2024年4月1日から診療を開始しました。

この新病院開院を新たなスタートに、地域の皆さまに寄り添った医療の実現を目指してまいります。

### 世界からの高評価 — ESQR Quality Achievements Award受賞、Newsweek World's Best Hospitals連続ランクイン

2023年12月に、九州大学病院は、スイスに本部をおくESQR (European Society for Quality Research: 欧州品質研究協会) からQuality Achievements Award (品質功績賞) 2023を受賞しました。この賞は、品質管理において改善に向けた努力を示し、優れた成果をあげた組織を表彰するもので、私はUAEのドバイで開催された授賞式に出席し、トロフィーと賞状を受け取りました。

また、Newsweek誌が毎年発表している世界の病院ランキング「World's Best Hospitals 2024」でも、昨年に引き続き日本4位、世界69位にランクインしています。

これらは、最先端医療の実現に向けたたゆまぬ努力と徹底した医療安全への追求が高く評価されたものと受け止めています。

今後も、地域の皆さまに信頼され、世界からも認められる病院を目指し、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。